脳神経内科 *Neurology*

1. スタッフ構成(2025 年 3 月時点)

○岡本 憲省(主任部長、脳卒中センター副センター長)
1994年自治医科大学卒
専門分野:脳卒中、神経難病、内科疾患による神経障害、老年症候群
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本老年医学会老年科専門医・老年科指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医・脳卒中指導医、厚生労働省臨床研修指導医

○京樂 格(部長)
2000年宮崎医科大学卒
専門分野:脳卒中、神経難病、総合診療
資格:日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本病院総合診療医学会認定医、厚生労働省臨床研修指導医

○渡部 真志(部長)
2010年愛媛大学医学部卒
専門分野:脳卒中、神経難病、神経免疫疾患
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医・脳卒中指導医、日本神経免疫学会神経免疫診療認定医、日本母性内科学会母性内科(内科・神経分野)プロバイダー、厚生労働省臨床研修指導医

○白岡 朗(医長)
2013年帝京大学医学部卒
専門分野:脳卒中、神経難病
資格:日本内科学会認定内科医、日本神経学会神経内科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○大坪 治喜(医長)
2015年愛媛大学医学部卒
専門分野:脳卒中、神経難病、脳血管内治療
資格:日本内科学会認定内科医、日本神経学会神経内科専門医、日本脳卒中学会脳卒中専門医、日本脳神経血管内治療学会脳血管内治療専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○吉田 暉(総合診療科医長)
2018年愛媛大学医学部卒
専門分野:内科一般、脳神経内科一般
資格:日本内科学会内科専門医

2. 実績

■ 受診の統計

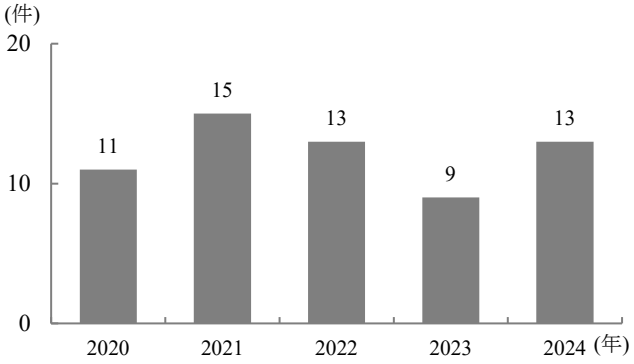
	患者数等
初診外来患者数	372 名
再診外来患者数	7,983 名
入院ベッド数	22 床
年間入院患者数	363 名
新規入院患者数	223 名
平均在院日数	15.6 日

■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10 準拠)	2022	2023	2024
脳血管障害(脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、脊髄血管障害、静脈洞血栓症、くも膜下出血、内頚動脈・椎骨動脈狭窄ならび解離)	98	99	145
多発性硬化症、視神経脊髄炎	13	8	12
パーキンソン病	3	7	4
パーキンソン症候群	2	2	7
多系統萎縮症	0	0	1
慢性炎症性脱髄性多発神経炎、多巣性運動ニューロパチー	45	50	25
ギラン・バレー症候群(ミラー・フィッシャー症候群、Bickerstaff 脳幹脳炎も含む)	5	7	14
脳炎(ウイルス性、自己免疫性、傍腫瘍性、辺縁系)、脳髄膜炎(ADEM も含む)	21	16	27
多発ニューロパチー	17	5	13
内科疾患による神経・筋障害	7	15	9
てんかん	20	26	33
重症筋無力症	17	14	13
運動ニューロン疾患(ALS 等)	9	7	14
脊椎疾患	1	3	0
脊髄小脳変性症	1	1	2
精神疾患	0	4	4
ミオパチー(筋炎、筋ジストロフィー)	14	16	22
腫瘍性疾患(原発性脳腫瘍、髄膜癌腫症)	5	1	3
不随意運動(ミオクローヌス、ジストニア、振戦等)	0	0	2
認知症(アルツハイマー病、正常圧水頭症)	4	5	9
非感染性炎症性疾患(神経サルコイドーシス、神経ベーチェット病、神経スイート病)	2	3	1
神経梅毒、クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1
その他	24	10	2
合計	308	299	363

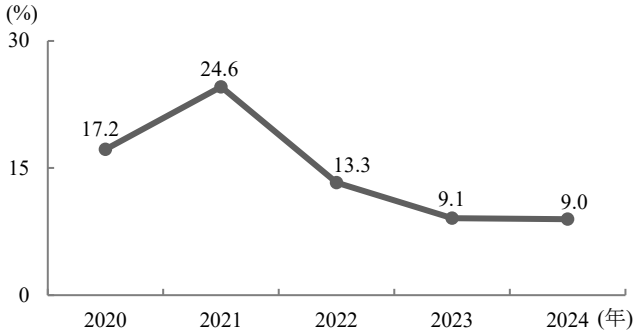
■ 当科で行った超急性期脳梗塞に対する t-PA 静注療法の概要

(1) 症例数の推移



2005 年 11 月～2024 年 12 月の合計では 260 例(平均年齢:73.5 歳、男性 152 例、女性 108 例)でした。

(2)　脳梗塞入院患者に対する t-PA 療法患者の割合



(3)　当科入院患者の t-PA 静注療法+血栓回収術

	2020	2021	2022	2023	2024
施行数	5	7	1	9	22

■ 全死亡例およびその死因

疾患名	死因(剖検)
リステリア髄膜炎	リステリア髄膜炎(剖検)
脳梗塞	心原性脳塞栓症
脳梗塞	心原性脳塞栓症
脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞
脳髄膜炎	脳髄膜炎(剖検)
単純ヘルペス脳炎	単純ヘルペス脳炎

■ 検査件数

検査名	2022	2023	2024
神経伝達検査	144	131	226
誘発電位	8	11	11
脳波検査	131	138	272
針筋電図	12	11	27
頭部 CT	143	804	380
頭部 MRI/MRA	234	922	809
SPECT/PET	208	213	182
頸動脈エコー	52	322	191
筋生検	12	6	4
脳・神経生検	2	0	0

3.　2025 年度目標

(1)　超急性期脳梗塞治療成績の向上のため、関係部署と連携して院内所要時間(door to needle/door to puncture)の短縮を進めます。

(2)　神経難病患者の医療連携の構築、脳卒中患者の受け入れにおける前方、後方連携とのさらなる強化に努めます。

(3)　脳神経内科専門医を希望する若手医師の育成、指導・教育の充実を図ります。

(4)　Storke team(AIS チーム)が設立されました。院内で発症した急性脳卒中患者の治療成績向上のため、啓蒙活動を進めていきます。

(5)　神経学会、脳卒中学会などの関連学会への参加、論文作成に努めます。

4.　学術関係

(1)　学会発表および講演

1. 大坪治喜、吉田暉、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. Magnetic Resonance Imaging Versus Computed Tomography Before Mechanical Thrombectomy For Acute Ischemic Stroke. International Stroke Conference 2024. Phoenix,Arizona, United States (2024.2.7-9)
2. 久保仁(北宇和病院)、吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 当院における卵円孔閉鎖術の妥当性に関する臨床的検討. 第 15 回四国神経懇話会. 香川 (2024.2.17)
3. 渡部真志、吉田暉、大坪治喜、白岡朗、京樂格、岡本憲省. 新型コロナウイルスワクチン接種後に脳梗塞を来した抗カルジオリピン抗体陽性非細菌性血栓性心内膜炎の 1 例. 第 49 回日本脳卒中学会学術集会 (stroke 2024). 横浜 (2024.3.7-9)
4. 大坪治喜、吉田暉、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 地方都市の Primary Stroke Center における急性期脳卒中診療の現状と next generation の課題. 第 49 回日本脳卒中学会学術集会 (stroke2024). 横浜 (2024.3.7-9)
5. 上田彩加、吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. メチルエルゴメトリンパレイン酸塩が誘因と考えられる脳血管攣縮により脳梗塞を発症した 1 例. 第 49 回日本脳卒中学会学術集会 (stroke2024). 横浜 (2024.3.7-9)
6. 渡部真志、吉田暉、大坪治喜、白岡朗、京樂格、岡本憲省. Anti-myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease mimicking central nervous system vasculitis. 第 65 回日本神経病理学会総会学術研究会. 下関 (2024.5.16-18)
7. 吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 正常圧水頭症患者の白質病変とタップテスト前後でのスコアリングの変化. 第 65 回日本神経学会学術大会. 東京 (2024.5.29-6.1)
8. 久保仁(北宇和病院)、吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 当院における卵円孔閉鎖術の妥当性に関する臨床的検討. 第 65 回日本神経学会学術大会. 東京 (2024.5.29-6.1)
9. 吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 中枢神経症状を呈し抗 NAE 抗体陽性であったが甲状腺ホルモン補充のみで症状の改善を認めた橋本病の 1 例. 第 115 回日本神経学会中国・四国地方会. 島根 (2024.6.22-23)
10. 久保仁(北宇和病院)、吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 多発性筋炎の経過中に免疫性血小板減少症を生じ大量 免疫グロブリン療法が有効であった 1 例. 第 115 回日本神経学会中国・四国地方会. 島根 (2024.6.22-23)
11. 大坪治喜、吉田暉、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 愛媛県松山市における急性期脳梗塞診療の進歩と課題. 第 5 回日本脳神経内科血管治療研究会(JSVIN2024). 福岡 (2024.8.24-25)
12. 吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 交通外傷による頭蓋内解離性内頚動脈閉塞に対して血栓回収療法が奏功した 1 例. 第 5 回日本脳神経内科血管治療研究会(JSVIN2024). 福岡 (2024.8.24-25)
13. 岡本憲省. 神経診察において注意すべきポイント. 愛媛県医師会臨床研修医共通勉強会. Web (2024.9.10)
14. Ohtsubo H、Yoshida A、Shiraoka A、Wanatanabe M、Kyouraku I、Okamoto K. Differences in Accuracy between 4D Computed Tomography Angiography and Conventional Imaging Modalities in the Diagnosis of Occluded Vessels before Mechanical Thrombectomy. 17th Congress of World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology (WFITN2024). New York Hilton Midtown (2024.10.6-10)
15. 岡本憲省. パーキンソン病は身近な神経難病. 第 2 回松山市介護支援専門員協議会学習会. 松山 (2024.10.17)
16. 渡部真志. 神経難病－神経免疫疾患「治せる脳神経内科」を目指して. 第 140 回医療連携懇話会. 松山 (2024.11.13)
17. 吉田暉. パーキンソン病の日常診療のリアルとトピックス. 第 140 回医療連携懇話会. 松山 (2024.11.13)
18. 渡部真志、吉田暉、大坪治喜、白岡朗、京樂格、岡本憲省. 長期免疫抑制療法中に中枢神経系原発悪性リンパ腫を発症した Sarcoidosis-Lymphoma Syndrome の 1 例. 第 60 回愛媛県立病院学会. 松山 (2024.11.16)
19. 大坪治喜、吉田暉、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 血栓回収療法前の初期画像モダリティーによる転帰の違いについての検討－K-NET registry サブ解析－. 第 60 回愛媛県立病院学会. 松山 (2024.11.16)
20. 久保仁(北宇和病院)、吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 左前頭葉白質病変にて急性の運動性失語を呈した視神経脊髄炎スペクトラム障害(NMOSD)の 1 例. 第 116 回日本神経学会中国・四

国地方会. 米子 (2024.11.16)

21. 大坪治喜、吉田暉、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 脳主幹動脈閉塞に対する4D CTAによる閉塞血管同定の正確性についての検討. 第40 回日本脳神経血管内治療学会学術集会(JSNET2024). 熊本 (2024.11.21-23)
22. 吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 頭蓋内内頚動脈解離による内頚動脈閉塞に対して機械的血栓回収療法を施行した2例. 第 40 回日本脳神経血管内治療学会学術集会(JSNET2024). 熊本 (2024.11.21-23)
23. 大坪治喜、吉田暉、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 後頸部痛で発症し経過中に横-S 状静脈洞部硬膜動静脈瘻が出現した脳静脈洞血栓症の 1 例. 第 52 回日本頭痛学会総会. 横浜 (2024.12.6-7)
24. 高山理彩、吉田暉、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 免疫不全を背景にインフルエンザ関連肺炎を発症後播種性ムーコル症による致死性脳合併症を呈した 1 剖検例. 日本内科学会第 131 回四国地方会. 松山 (2024.12.15)

(2) 論文・著書

1. Wanatanabe M、Ohtsubo H、Shiraoka A、Kyouraku I、Okamoto K. Management of multiple cerebral embolisms due to polycythemia vera with acquired von Willebrand syndrome. Neurology and Clinical Neuroscience 12(6). 356-358 (2024.4)
2. 久保仁(北宇和病院)、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省. 汎下垂体機能低下症と中枢性尿崩症を呈し IgG4 関連下垂体炎が疑われた 1 例. 臨床神経学 64(6). 398-402 (2024.6)
3. 吉田暉、矢部勇人(済生会松山病院脳神経内科)、西田敬悟(済生会松山病院泌尿器科)、鈴木大一郎(済生会松山病院泌尿器科)、白戸玲臣(済生会松山病院泌尿器科)、横山雅好(済生会松山病院泌尿器科)、永井将弘(愛媛大学医学部附属病院臨床薬理神経内科). アマンタジン中毒により変動性のある全身性陽性ミオクローヌスを認めた 1 例. Video Journal of Movement Disorders 3(1). 47-51 (2024)